



# 長系っ子

糸島市立長系小学校（97名）  
4月号② 文責 校長 重富 泰敏  
平成31年4月17日

## 全学年97名がそろってスタートしました！（入学式のお礼）

11日に挙行了しました、第131回入学式では、たくさんの御来賓、保護者の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございました。

新1年生を加えて、本年度も、長系小学校、保護者・地域の皆さんと楽しく前進していきたいと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

入学式前日の準備では、教職員と2年生～6年生が力を合わせて、新1年生のお迎えの準備ができました。各学年の子どもたちも、新入生への期待感に胸を膨らませ、ワクワクしている様子がたくさんうかがえました。また、掃除や体育館（式場）の準備、1年生の教室の飾り付け等、「責任と自覚」をもって一生懸命に協力する姿がたくさんありました。とてもすばらしい姿でした。子どもたちも含めて、皆さんのあたたかい気持ちに感謝しています。ありがとうございました。

## 「今日から長系小学校の仲間です」

この言葉は、入学式で児童代表が新入生に向けて話したメッセージです。（一部抜粋）

小学校になったら、みんなと一緒にがんばらなければいけないこともあります。

それは、あいさつです。お家の人や、地域の人、先生方や友だちに、毎朝、大きな声で「おはようございます」と、あいさつをしましょう。

小学校に入ったばかりのみんなには、分からないこともいっぱいあると思います。そんな時は、ぼくたちに聞いてください。やさしく教えます。

今日からみなさんもぼくたち長系小学校の仲間です。  
みんなで楽しく過ごせる長系小学校にしていきたいと思います。  
児童代表 6年生

原稿も見ずに、堂々と発表する姿は、大変素晴らしかったと考えます。また、地域の方々からも「児童代表の子は、よかあいさつしよったな～！」とお声をいただきました。長系小のリーダーとして、今後も、5・6年生と一緒にがんばってくれることを期待しています。

### 【1年生の保護者の皆様】

入学して約一週間が経ちました。小学校の生活に慣れていくながら、楽しいことやがんばりたいことを見つけていってほしいと願っています。

御家庭でも、学校での出来事やほめてもらったこと、注意されたこと等を楽しく会話していただき、お子様の気持ちに寄り添ったり、怒られたり注意されてこと等については、「どうしてダメなのか？」を丁寧に話していただいたりすることで、子どもは勇気づけられ、意欲的に学校（社会）に向かうことができます。よろしくお祈りします

## 交通安全に関するお願い

【注意とお願い！！～登下校状況の確認と指導をお願いします～】

**子供を交通事故から守りましょう！～いのちはひとつ～**

これは、福岡県警察から出されたチラシの一部です。（裏面参照）

「子供たちが元気に保育園や幼稚園に行ったり登校したりする姿は可愛いものです。子供たちが交通事故に遭わないようにするために、何に気をつけ、また何を教えればよいのでしょうか。」

県内のデータとして「年齢別歩行中の事故死傷者数」は、7歳（1年生）が最も多い人数になっています（昨年度データ）。また、糸島市内でも自転車による事故が年々増えていることについて、子どもたちに指導をしています。

子どもたちの安全のために各行政区等をお願いして、登校班編成していただき集団登校や集団下校の取組を行っています。ほぼ全ての班が一列に並んで安全に登校できていますが、連休を過ぎると、いくつかの登校班で、遊びながらの登校やバラバラでの登校が見かけられます。その場で指導・声かけを行っていますが、全ての行程で指導を行うことはできません。

それだけに、登校班自体が自分たちで安全に登下校できる力をつける事が必要です。新1年生とも一緒に登校が始まっている「今」が一番大切な時期だと考えています。

学校でも、年度初めの地域集会等開き、登校状況については、丁寧に指導しているところですので、御家庭でも、各地域での出発時にお時間の余裕がありましたら、見守りと声かけ指導や途中まで一緒に登校していただくことで、子どもたちにも安全な登校の力が付きます。御協力、よろしくお願い致します。

## 文集を寄贈していただきました（お礼）

この度、〇〇〇〇様（旧姓：〇〇 昭和39年度卒）から、文集「しらいと」と「長系小学校学校新聞」を寄贈いただきました。

これは、〇〇さんら、長系小学校の同窓会（昭和39年度卒業生の会）が今年1月に行われた際、「自宅の整理をしていて発見した。校区で役立ててもらいたい」ということで、寄贈していただきました。

文集「しらいと」は、昭和34年9月25日発行分～昭和38年12月23日発行分までがおさめられています。

いくつか紹介します。第21号 昭和34年より



・「どっちぼーる」 当時いちのまつの子どもの作品  
たいいくのじかんに、くようとうにのぼりました。  
おまいりしたあとで、きはらせんせいとみんなで、どっちぼーるをしました。  
ともだちがつよいぼーるをなげたので、ぼくが、どんと、むねのところで、とりました。すぐうしろの人にむかってなげたら、おんなの人のあしに、あたりました。あんまりはりこんで、みんなあせぶるぶるになりました。どっちぼーるはとてもおもしろいです。

・「マラソン」 当時五の梅の子どもの作品  
今日はマラソン大会でした。ドーンとピストルがうたれてスタートした。  
六年と五年の男子二組でどンドン走って行って初出の店の前に来たら、お父さんと、お母さんと、おねえさんと、近所の人に応援にきてありましたのでな

んだか嬉しいようで一生けんめいに走りました。木野の前で三人ぬきました。学校に着くときには五番でしたが、五年生だけでみると三番目でしたので嬉しかった。賞状がもらえるのでまた嬉しかった。

帰ったらお父さんかに「よく走ったなあ」とほめてもらってとてもうれしかった。

・「牛」 当時の五の松の子ども作品

牛はいねやその他いろんなものを運びます。ぼくのうちはいねを運びせました。ぼくのうちの牛は大きい力がしゃばいのです。いねを荷車に乗せるとぼくたちがおしてやらなくては動きません。おしてやると動きます。手をはなしてすこし行くととまります。だから牛についていかななくてはなりません。

父ちゃんが前に出て「しえい。しえい」と何べんもいいますが、牛はなかなか動きません。だからぼくたちは最後までついていかなければなりません。

うちについたらすぐ草をたべるのに、力は、このようにしゃばいのです。

懐かしさと、長糸らしさがうかがえる文集です。

あわせて、昭和39年10月3日（校長 鎌田 一男 先生時）の学校新聞も寄贈いただきました。

文集「しらいと」と学校新聞については、校長室で保管させていただきます。

長糸校区内外の方々から、見せてほしい等の御要望があれば、校長室にて公開させていただきます。お気軽にお声かけください。また、毎月発行の長糸小通信「長糸っ子」でも、ときどき紹介させていただきます。

〇〇様、本当にありがとうございました。

## 来たれ！地域の人命と財産を守る・未来の長糸分団員！（連絡）

糸島市消防団長糸分団では、5月12日13：30～「荒毛の丘（学校裏の忠霊塔）」において、土砂災害対応訓練を行います。

昨年度、西日本豪雨災害が発生しました。豪雨に伴う河川の氾濫や土砂崩れは、校区民にとって命や財産に関わる重要な課題です。

糸島市消防団長糸分団では、今回の訓練に際し、子どもたちの見学や未加入の校区民の皆さんの見学を受け入れるとのことです。

### 【長糸分団長からのメッセージ】

長糸小のみんな！

わたしたちは、糸島市消防団長糸分団です！

きっと、みんなのお父さんやお兄ちゃんの中には、消防団に入っている人もいないかな？

わたしたちは、お仕事をしながら、休みの日には訓練をして、火事や大雨などの災害から、地域の人たちの命と財産を守っています。

5月12日の日曜日、13：30～荒毛（あらげ）の丘で訓練をします。

見学に来てくれたら、消防車に乗ることができるよ！！

みんなで協力し合って、みんなが住んでいる町の安全・安心を守っていこう！

未来の長糸分団員のみなさんの見学を待っています。

※分団未加入の皆さん、長糸小の保護者の皆さん、わたしたちはみなさんの加入をお待ちしております。団結して、わたしたちの校区・家族・子どもたちを守っていきましょう！！ 見学お待ちしております。

糸島消防団長糸分団長

## 福岡県警ホームページ情報～ いのちはひとつ ～

### 子供を交通事故から守りましょう！～ いのちはひとつ ～

子供たちが元気に保育園や幼稚園に行ったり登校したりする姿は可愛いものです。

子供たちが交通事故に遭わないようにするために、何に気をつけ、また何を教えればよいのでしょうか。

#### Q 子供の交通事故の特徴は？

子供の交通事故のうちの約半数以上が道路への飛び出しです。

それも、子供が一人で歩いているときに発生しています。

自宅付近の道路での事故が多発しています。

子供の事故は、子供が学校や幼稚園等から帰る午後2時から午後6時までの間に多発し、特に、午後4時前後に集中的に発生しています。

#### Q 子供の行動特性は？

一般的に、

- ・一つのものに注意が向くと、周りのものが目に入らなくなる。
- ・その時々気分によって行動が変わる。
- ・大人の真似をしたり、依存して行動することがある。

等の行動特性が挙げられます。

### 子供の交通安全は家庭から！（保護者のみなさんへ）

園児や児童がいる家庭では、子供の飛び出し事故を防ぐため、通学（園）路や家の周りを子供と一緒に歩き、安全な歩き方や道路の横断の仕方、信号の意味と見方などを教えてあげましょう。

この時、子供の目線で風景を見ることをおすすめします。大人の目線では気付かなかったことが発見できます。

また、身近に起きた事故について家庭で話し合い、家族ぐるみで交通ルールとマナーの実践を習慣づけるようにしましょう。